

令和6年9月1日

九州医学技術専門学校
校長 金原 俊輔 殿

学校関係者評価委員会
委員長 小丸 検造

学校関係者評価委員会報告

令和5年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 学校関係者評価委員

委員名	所属先	役職名	備考
小丸 検造	日本赤十字社長崎原爆病院	元 技師長	同窓会会長
中尾 暢隆	長崎医学中央検査室	常務	企業
松野 大輔	長崎セントノーヴァ病院	事務次長	同窓生
梶原 恵	神村学園高等部 大村学習センター	センター長	
奥村 亮子	一社) 日本青少年育成協会 キャリア教育委員会	長崎事業責任者	
前田 陽二	葉山町自治会		元私立高校教諭

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和6年 8月2日(金) 18:00～

(九州医学技術専門学校 パソコン室)

3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

令和5年度九州医学技術専門学校自己評価をもとに評価

今年度に関しては、第1回委員会にて、令和5年度全期評価について、松田教頭より、学校自己評価の説明が行われたのち、学校自己評価をもとに、項目別でなく、全体的な学生像についての意見が活発に出された。

《 学校教育基本方針 学校教育目標 重点努力目標 》

松田教頭より

評価基準は1～4にて行う。

目安は下記の通り。

4：十分に達成している

- ・目標に対して具体的方策が進行しており、当初の成果が得られていると判断される状態
- ・具体的方策を実施であり、漸次その成果を検証しつつある状態

3：おおむね達成している

- ・改善に向けて共通理解を持ち、具体的方策の実行に着手しつつある状態
- ・改善の必要性に対して理解があり、具体的方策に対して取り組もうとしている状態

2：どちらかという達成されていない

- ・改善の方向性は持っているが、共通理解が十分ではなく、全体として停滞が目につく状態
- ・改善の方向性を探っている状態

1：ほとんど達成されていない

- ・問題意識を持ってはいるが、手つかずの状態
- ・現状に満足し、問題意識にまで考えが及んでいない状態

臨床検査科

最大の目標である「臨床検査技師国家試験合格からの全員就職」に向け、1年次より様々な対策を行っている。

その最大目標を達成するための「具体的方策」と「具体的取組」を設定し、それぞれの評価を前期・年度末において行った。

自己評価結果を保護者・卒業生へ配布を行っておらず（HP上には記載）、低い評価となっている。内勤教員の授業評価アンケートを、令和5年度も実施した。（Googleフォームを活用）令和6年度は非常勤講師についても実施。

医療秘書科

最大の目標は「全員就職」である。そのために各種検定試験合格を目指し、指導に取り組んでいる。

卒業生講話の実施、12月以降の早期就職（インターンシップ）に出ても、月1回登校日を設け、お互いに情報共有に努めた結果、年度内に離職する学生はいなかった。令和5年

度は新しい試みとして、「診療報酬請求事務能力認定試験」（試験会場：福岡）を7月に受験するようにし、1年課程ではあるが、資格取得できるよう頑張らせたい。令和6年度も同様に7月受験。無事2名合格となった。

以下は評価に対してご意見を頂戴したところのみ記載。

《 学校教育基本方針 学校教育目標 重点努力目標 》

今後の課題(要望)

- ・社会ニーズにこたえられる人材育成を目標とするならば、国家試験合格は必須と思われる。
- ・国家試験合格率が前年よりも23.8%も向上しているのは素晴らしいことだと思った。
- ・退学者が出ているが、「理由は？」
- ・国家試験の合格率・就職率などのデータに関して、例えば在籍者数、卒業者数や国試受験者数、合格者数等々を表形式に整理すると推移と問題点が把握しやすくなるのでは？
- ・どんな職場でも、窓口受付での第一印象がその職場のイメージを決定づけます。特に不安を抱えて訪れる病院患者にとって受付の対応は重要です。患者が安心感を持てるような対応ができる人材育成を期待する。(医療秘書科)

《 1. 教育課程・学習指導 》

今後の課題(要望)

- ・「具体的方策」の〈就職先の病院等を対象に…〉の項目が2年続けて「B」の表かとなっていることについて原因と対策の検討が必要かと思われる。それ以外、昨年「A」評価が今回「B」評価となっているのが散見される。ご検討を。
- ・シラバスの周知？シラバスは冊子にするよりもホームページ上で掲載することで十分だと思う。
- ・就職先との連携を強化して欲しい。卒業生への調査も実施して欲しい。
- ・出身高校が「理系」か「文系」かで、1年、2年、3年、国試と成績の差があるのか、どう変わったかという視点から学生を見るのも今後の学生指導に参考になるのではないか。

《 2. 生活指導 》

今後の課題(要望)

- ・挨拶や礼儀は基本。しっかりできているだろうか。

《 3. 進路 》

今後の課題(要望)

- ・「資格取得」で多く「B」評価に下がっていることの原因究明及び、対応策の検討が必要。
- ・国家試験対策を十分実施されていると思うが、学力の低い学生への対応が課題。

・全校模試(全学年模試)を行っても、学生にとっては進級等とは関連無しと、考えているのではないか？進級や卒業判定に加えるのはどうか。

《 4. 社会人基礎力 》

今後の課題(要望)

- ・「考える抜く力の向上」はどのようにすればUPするのだろうか。B評価が多く継続している。
- ・「前に踏み出す力」は昨年より下がっている。
- ・全体として素直であるが、実習の隙間時間をうまく利用できず、おしゃべりが多い。
- ・社会全般のことではあるが、頭髪の色が気にかかる。
- ・1年次より、課題解決型学習(PBL)を取り入れては？

《 5. 広報 》

今後の課題(要望)

- ・いうまでもなく「生徒募集活動」は、学校経営の根幹にかかわることなので、より一層の努力を。
- ・長崎県においては、人口減、少子化による学生減について、専門学校の将来を心配している。
- ・ホームページの更新が滞っているのはなぜか？

《 6. 組織・運営 》

今後の課題(要望)

- ・生徒による教員の授業評価の結果、問題となる教員はいなかったのか。
- ・学校評価の根本は授業評価と言えるので、授業の質向上に努めていただきたい。

《 7. 施設・設備 》

今後の課題(要望)

- ・施設の老朽化が進んでいるように感じる。

その他、気づき

・昨年度に比べて下がっている評価の箇所が多く感じた。(11 項目)何か大きな変化があったのだろうか。国家試験の合格者がアップしているのは、昨年度の会議で話していた様々な対策が功をなしたのだと推察した。先生方のご尽力の賜物だと思う。

・広報に関してはかなり良くなってきていると感じる。学生の質の向上を期待する。

・学生・生徒減(少子化)は、今後も続くことは自明のことであり、学校経営はますます厳しくなる。そうした中、生徒募集のための広報活動は大変重合であります。メディア等を使った広報活動と変わらないくらい効果を発揮するのは「口コミ」です。口コミの内容は言うまでもなく授業の質や教職員の生徒への対応の良し悪し、それに進路状況です。いずれも教職員の自覚と努力にかかっています。一層の精進を期待する。

・「主体的人材の育成」を現代社会全般の課題だと思う。豊かな人間性に関しても成果として出ることが何年も先になることもあるので、見えにくい成果だと思う。

・臨床 3 年生の技能実習評価 (OSCE) について、2 年生で行うのは大変なのではないか？
(令和 6 年度の 2 年から実施)

→3 年生の 4 月に 30 時間実施し、不合格だった場合臨地実習に行けず、留年となってしまうので、2 年生の、2, 3 月に行い、合格してから進級するようにする。

・授業評価の結果を見やすくする→レーダーチャートが良い。